

2012年国民春闘、雇用と賃金引き上げを、社会保障改悪反対

労働者の働く場を増やせ、内需中心の経済づくりを



12春闘ガンバロー

年明けから円高・ドル、ユーロ安で日本・海外とも金融不安のなか、12春闘がはじまりました。全労連、連合ともすでに春闘方針にもとづき賃上げ、雇用確保などの要求を掲げ、経営者・行政などへの交渉をおこなっています。

1月23日、日本経団連の経営労働政策委員会報告「危機を乗り越え、労使で成長の道を切り拓く」で経営者側の春闘への対応を示しています。賃上げについて「ベースアップの実施は論外」、連合の1%賃上げ要求も切り捨てという態度、定昇も無理、正規労働者の賃下げの狙いもあるとのこと。

増税や年金・医療・介護などの社会保障改悪に反対

野田政権は米国・財界の言いなりに悪政を遮二無二すすめる姿勢です。1月13日、急遽行なわれた野田内閣改造は、消費税増税と衆院比例定数削減を一体にすすめるための布陣を強めました。野田改造内閣は、手始めに衆議院比例定数80削減

を行ない、消費税増税へ突っ走る決意をあらわにしています。比例定数削減は少数政党の切り捨てであり、大政党有利の国会では、国民の民意は歪められます。

通常国会は、「社会保障と税の一体改革」による年金・医療・介護の改悪の動きとともに米軍新基地建設問題、TPP(環太平洋連携協定)問題、をはじめとする国民の暮らしと平和など重大課題山積です。そして大震災復興のとりくみ、原発事故の処理と原発ゼロの取り組みも、国が緊急課題として行なわなければなりません。

働く場を増やせ!

民主党はマニフェストをことごとく破り、限りなく自民党化へすすんでいます。公約破棄の政治は許せません。年内総選挙もあり得ます。ここでこそ国民にとって本当の政治改革が必要です。

いま国がすべきこと、震災復興と景気回復です。不要な公共事業をやめ、年間380億円を超す政党助成金や米軍への思いやり予算をストップさせるなど、国民へ負担を減らす予算づくり、大企業の内部留保の一部を雇用に活用させる。富裕層には所得に見合った課税とする。輸出だけに頼る経済づくりから内需中心の経済に切り替えることです。そのことは働く場を増やすことにつながります。



12春闘、非正規労働者などの賃上げや雇用の課題が前進するよう、労働組合に団結し、私たちが頑張っていきましょう。

1月の執行委員会、各支部での労働相談活動のすすんでいる事が報告されました。

以下は、前月の相談の進捗と新たな相談事案の主な報告です。企業名や当事者名は伏せてあります。

【こうとう支部】 解雇問題で相談をうけている。 昨年、子会社へ配転された、配転後の会社で一時金未払いとなる。支払いを要求したところ、出勤停止処分。弁護士を立てたが埒が上がり、組合に加入。組合は団交を申し入れた。さらに処分の理由も示さず「懲戒解雇」処分。労審判への係争で進めている。



週3日のデリバリーの職場、雇用が4月更新であったが、クレームを理由に雇止め。会社は偽装請負の疑いもある。交渉を継続。会社、65歳雇止めの動きがあり。業務成績が悪いとの理由で雇止め。労審判へ持ち込む。この他、運送会社の運転手への皆勤手当未払いや残業代算出の基礎単価が正規のものとなっていないことについて、正当に支払うことを要求。現在、団交を重ねている。コンビニ店員の解雇問題の相談もよせられている。

【品川支部】 12月、品川支部第3回定期大会を開催した。労働相談、新聞販売店での残業代未払い問題、引き続き交渉をおこなっている。営業マン、突然の配転命令。通勤時間が2時間余りとなる。会社の意図は自己都合退職を狙っている模様で団交を申し入れ。

【建交労支部】 今年は支部としての動きをつくっていききたい。

【北支部】 病院職員への不当な解雇問題、新宿区労連と一緒に交渉。本人意思は職場には戻りたくない。結果は会社都合とし、

退職金も支払う金銭解決となる。 弁当屋従業員解雇については、金銭解決となる。運送会社の2次下請け業者が、労働者の賃金10%分をカットしていた問題。組合の交渉により労働者へカット分を割賦支払いすることで解決。産廃の処理、重機運転に従事していた労働者がうつ病となる。背景には人員整理・労働力不足の結果、労働過重が恒常化した。労働者は労働環境改善を訴えようとしたが、解雇される不安があつてできなかった。とうとう肉体も心も疲れ、医療機関でうつ病と診断された。労働者は組合に加入し、団体交渉で傷病手当金を請求。しかし、会社・弁護士は不誠実極まりない態度を続けています。当人は東京争議団共闘会議にも参加、頑張っています。

【渋谷支部】 春までに支部結成を目指したい。労働相談、今年になって5件増えている。派遣労働者の雇止めや派遣先の仕事が切れてしまった。派遣元を追求している。不渡り・解散した会社で社員4人が残って、資金繰り・仕事を回している。弁護士と相談しつつ、倒産との対応にむけている。試用雇用期間3ヵ月経ったが、覚えが悪いとされ、3ヵ月さらに試用期間を延長。その後、退職を強要された。組合に加入し不当な扱いであると、会社に是正を求め交渉。



【港支部】 区労連20周年となる。労働相談、うつ病で解雇(電話連絡)を言われた。休業補償を要求。

この他 足立地域では一昨年来から、支部結成準備をすすめています。労働相談にみえた労働者の組合加入がすすみ、二桁の組合員数に近々到達する予定。支部結成実現にむけ努力中です。